

私のライフストーリー



神奈川県立がんセンター 医療技術部 放射線治療技術科 | 青木麻美

仕事編

1 Q 診療放射線技師を目指したきっかけ

A 母親が歯科衛生士だった影響で、中学生の頃から医療の現場で働きたいと考えていました。高校生の時に医療に関わる職種を調べていくうちに薬剤師や診療放射線技師に興味を持ち、自分の学力と相談し診療放射線技師の道に進むことを決めました。



図1 治療科スタッフ3分の1

2 Q やりがいを感じる時

A 現在、私は放射線治療業務に従事しています。放射線診断業務の時とは違い、平均1~2か月間毎日同じ患者さんに接することが出来ます。その間、自分の行った治療で患者さんの苦痛や症状が改善され、「腫瘍が小さくなった」「顔をみると安心する」など、患者さんに声をかけられた時にやりがいを感じます。また、最終日に「ありがとう」という感謝の言葉を直接伝えられた瞬間、喜びや達成感を感じます。このような言葉を言ってもらえるのは、放射線治療だからこそだと思っています。

3 Q 診療放射線技師養成課程の学生時代

A 私が通っていた学校は、女子の割合が少なく全学年の2割程度でした。最初は、女子の少なさに驚きましたがその分団結力ができ楽しい学校生活を送ることができました。学生時代の友人とは、今でも交友関係が続いており仕事のことプライベートのこと、何でも話せる良い関係を築けています。

4 Q 診療放射線技師免許以外の資格について

A 放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士、第1種放射線取扱主任者、医学物理士の資格を取得し、一先ず放射線治療に関する資格は網羅できたと思います。